

平成24年8月5日

今週のベストショット



雁レクD 三苦フレンズ 対 ブルーマーリンズ戦

二打席連続HRを放ち、勝利にあと一歩だったブルーマーリンズ友重正司選手。

写真：奈多クラブ 落石官照

雁レクD

三苦フレンズ (1勝6敗2分) 5 0 0 0 1 0 6 井上-佐藤
ブルーマーリンズ (0勝8敗1分) 2 0 1 0 1 2 6 綱脇、林-尾田

HR:友重×2 (ブルー) 3BH:浜崎 (ブルー) 2BH:林 (ブルー)

リーグ13位と14位の低位対決。一回表三苦フレンズは、3安打と相手エラーにより5点先制。その裏ブルーマーリンズは、友重選手の2ランで2点を返す。二回表からマーリンズのピッチャーが林投手に交代後、両投手共に安定した投手戦の展開に。そして最終回、Bマーリンズ浜崎選手のタイムリー三塁打で2点追加し同点とするものの反撃もここまで。6対6の同点でゲームセット。Bマーリンズのリーグ初勝利はお預けとなった。

(記事、写真:奈多クラブ 落石官照)



一回表、三苦フレンズ5得点の攻撃。



2ホームアの活躍！ブルーマーリンズ友重選手。



ブルーマーリンズ林投手は失点1。



三苦フレンズ井上投手の力投。



三苦フレンズ反撃への円陣。



最終回、Bマーリンズ浜崎選手のタイムリー三塁打。

奈多グラウンド

レッドサンデーズ (2勝8敗0分) 0000010 1 池見○、今林(勇)一実延、池見

奈多フェニックス (9勝0敗0分) 041212X 10 嶋村●、土田一三船

HR: 西藤(奈多フ) 3BH: 折居(レッド)今林(勇)(奈多フ) 2BH: 神田(レッド)西藤(奈多フ)

初回は両チームとも無得点で静かな立ち上がりであったが、二回裏フェニックスは池見選手のヒットとデッドボールでチャンスを作ると、9番今林誠選手のライト前ヒットで1点、さら1番西藤選手が左中間を抜けるHRを放ち計4点を先制。その後も好調フェニックス打線は小刻みに得点を重ね計10点。レッドサンデーズはフェニックス二番手の今林(勇)投手から六回、三塁打を放った折居選手を3番土田選手の内野安打で返し、なんとか完封負けは免れるものの、最終回も三者凡退で万事休す。フェニックスの完勝であった。

(記事、写真: ソルトベイスターズ 田中裕次郎)



全勝フェニックスの先発、池見投手。



初先発、レッドサンデーズ嶋村投手。



タッチをかわして先制のホームイン、フェニックス池見選手。



フェニックス太田二塁手の好プレー。



ダメ押しのタイムリー！フェニックス今林心一選手。



前回ノーヒットノーランを達成した今林勇太投手が抑えて登板。

青松園A

塩浜ジャガーズ（4勝5敗0分） 003000 2 内田●—小森
 三苦ホーネッツ（8勝1敗1分） 111301 7 井手○、矢野—松尾
3BH：立石（塩浜ジ） **2BH**：立石（塩浜ジ） 矢野（三苦ホ）

真夏の強い日差しの中、先行塩浜ジャガーズ、後攻三苦ホーネッツで試合は開始された。一回裏ホーネッツの攻撃、先頭打者の矢野選手がレフトへのヒットの間に二塁へ到達、2番山崎選手の送りバントで三塁へ進塁、そしてパスボールで本塁に生還とホーネッツが足を活かした攻撃で先制点を挙げる。ホーネッツは二回にも追加点を挙げ2対0とリードを広げるが、ジャガーズも三回表先頭打者9番角選手が四球で出塁すると、二死と追い込まれた後3番立石選手がレフトオーバーのタイムリースリーベースを放ち1点を返す、続く4番内田選手もしぶとくライト前へ落ちるタイムリーを放ちこの回同点に追いつく。しかしその裏ホーネッツは、先頭3番稲葉選手がヒットで出塁すると4番広木選手のヒットの間に三塁を盗み一三塁とすると、5番松尾選手のセンターフライでタッチアップ、すぐさま勝ち越しに成功する。四回にはホーネッツ打線が爆発！9番打者から3番までの四連打で3点の追加点を挙げる。5回からホーネッツはここまで好投の井手投手から矢野投手へとスイッチ。勝利の方程式リレーで、矢野投手は五回、六回とジャガーズ打線をしっかりと抑えゲームセット。試合は7対2で三苦ホーネッツの勝利となった。ホーネッツの井手投手、矢野投手の二枚看板の投手陣と、足を活かした野手陣の攻撃が印象的であった。（記事：三球会 小倉圭太、写真：中村元）



一回表、ジャガーズ立石選手が三塁線を破る二塁打を放つ。



山崎選手の送りバント。彼のスピードに守備陣は気を抜けない。



三回表、ジャガーズ立石選手のタイムリー三塁打！



続く内田選手の打球は、セカンドの頭上を越えライト前へポトリ。



好調ホーネッツ打線を引っ張る3番稲葉選手。この日も2安打。



二番手でマウンドに上がったホーネッツ矢野投手。打っても二塁打を含む2安打と投打に活躍。

雁レクA ◆早朝花火大会!! 一試合4ホームー!!

奈多サンデーズ (7勝1敗1分) 5 2 1 7 1 5 塚本○ー荒口

三友クラブ (2勝7敗0分) 0 0 0 1 1 足達●ー谷崎

HR : 田中 (俊)、野々下、首藤、塚本 (奈多サ) 3BH : 野々下 (奈多サ)

2BH : 田中 (俊) × 2、八島、荒口 (奈多サ)

一回表、奈多サンデーズはリーグトップの打率(7月29日時点)を証明するかのように木下、野田、田中(俊)、八島、野々下選手と二塁打2本を含む5連打等で、いきなり5点を先制。まずは1点を返したい三友クラブは一回裏、四球のランナーを三塁まで進めるも、あと一本が出ず無得点。二回表、ホームラン数もリーグトップの奈多サンデーズは、ヒットで出塁した2番野田選手を田中(俊)選手の6号2ランで迎え入れ、点差をさらに広げる。四回表、野々下、首藤、塚本選手のホームランや監督・田中(孝)選手の2点タイムリーなどで7点を追加し、試合決定づける。こうなると気になるのはサンデーズ先発の塚本投手の記録。三回終了の時点で許したランナーは四球の1人のみ。四回裏、ノーヒットノーランは避けたい三友クラブ。監督の采配は「代打、俺」の広瀬監督(選手)自ら打席に立ち、見事センター前ヒット!続く駄原選手にもヒットが生まれ、ディレードスチールのような形も交えて1点を返し、一矢報いた。(記事:雁の巣ライナース 池内礼信、写真:三宅基裕)



三友クラブの先発は奪三振王の足達投手。



奈多サンデーズ先発は速球が持ち味の塚本投手。



初回無死から、サンデーズ猛攻5連打。
二塁打を放つ4番八島選手。



二回表、2ランを放つ奈多サンデーズ 田中(俊)選手。



チーム初ヒット、三友クラブ 広瀬選手兼監督。

第17週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

ロンドンオリンピックも閉幕し、日本は金メダル7個、銀メダル14個、銅メダル17個の計38個のメダルを獲得しました。

夜な夜な熱戦に一喜一憂して寝不足な日々でしたね。

中でもなでしこJAPANや卓球、バレーボール女子など女性の活躍が目を引きました。世の女性が強くなってきている今日この頃、WSLは力強い男を醸し出していきたいものです。

メダルを期待されている競技やメジャーな競技はTV中継されたりして注目を浴びますが、それ以外の競技も試合に懸ける意気込みやチームワークにこちらも心を打たれました。

マイナーなスポーツや選手が注目されるのもオリンピックの醍醐味のひとつでもあります。

そんな中、雁レクDの三苦フレンズ対ブルーマーリンズ戦は、数年ぶりの勝利を手にしかけたBマーリンズでしたが、初回の失点が大きく6-6の同点に追いつくのがやっとでした。10安打を放ったBマーリンズは、友重選手が二打席連続HRを放ち、勝ち点1を取り、表紙もGETしました。

奈多グラウンドのレッドサンデーズ対奈多フェニックス戦は、全勝のフェニックスにレッドがどこまで食い下がるかが注目され、レッドは嶋村投手が今季初先発。初回は無失点でしたが、二回以降フェニックス打線に捉まり、1-10でフェニックスが勝利。レッド唯一の得点は、43歳の1番バッター折居選手の三塁打からでした。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対三苦ホーネッツ戦は、ホーネッツは一度はジャガーズに追いつかれたものの、失点した三回以降は井手、矢野投手のリレーでヒットを一本も許さず着実に得点を重ね2-7で勝ちました。ホーネッツは終盤、控えの谷山、中角、池間、甲斐選手を出場させる計らいを見せ、難敵ジャガーズに快勝、優勝争いに残りました。

雁レクAの奈多サンデーズ対三友クラブ戦は、サンデーズが暑さからかピッチングに精彩を欠く三友クラブ足立投手の立ち上がりを攻め先制すると、攻撃の手を緩めず17安打4HRで快勝。途中から攻撃に参加した壱岐選手、田中孝幹監督もヒットを放ちました。昨年の打点・HR王の3番田中俊弘選手は3打数3安打1HR2二塁打4打点と今年も絶好調。負けじと19歳の5番野々下選手(19歳)も3安打1HR1二塁打4打点と追走。この二人の争いも見物ですね。

お盆休みを挟んで、8月後半戦へと入ります。

高校野球、U-20女子サッカーワールドカップなどまだまだ暑いスポーツが目白押しです。

オリンピック選手の直向きな姿勢を見倣って、WSLでまだ力を出し切れていない選手はここから巻き返しを！また夏バテや疲れが見え始める季節ですから、冷房の温度は下げ過ぎないようにしっかり睡眠を取りましょう。そのためにもぬるめのお風呂に浸かり、あがる直前に水を浴びるのも良いかと思えます。